

# 山弓連平成24年 4月

## 変身する弓道界に向けて

会長 天野 裕

昨年3月11日の東日本大震災は自然災害とその対策にもたつく人災とが重なり、甚大な被害をもたらしました。直接被害を被り家族や住居、仕事を失い、生きる手段さえ失われた人達のみならず、幸いにして生命、財産に直接的被害を免れた我々も、何事もなく生きていられる事の有り難さを痛感し、従来の生活形態の在り方をも考えさせられることとなりました。この災害に際し、どのように使われるかは兎も角、早速支援金に応募されて浄財を寄付して下さいました会員の皆様に改めて感謝申し上げます。

さて、山弓連も新年度を迎えました。昨年は前理事長の有賀武雄氏、元副会長の坂本致英氏等の重鎮先輩方が亡くなられ寂しい限りでしたが、気鋭の森岡博文新理事長、菊池敏彦総務部長の両氏に交代していたので新役員の初年度を難なく円滑に運営することができました。これは偏に会員諸氏のご協力のお陰であり感謝申し上げる次第です。

国民体育大会では四種別とも連年に亘り活躍してきましたが、もう一步のところで大大会への切符を逃してしまうとか、本大会に出場してもあと少しで優勝に手が届くという所がありました。しかし少年女子が遂にやりました。山口県「黒潮国体」で遠的優勝を果たしました。昭和62年沖縄国体での優勝以来24年ぶりの快挙でした。これは選手達の努力は勿論、指導部長の下で監督・コーチの先生方が指導体制を一体化し、通年計画で指導された成果です。今後も是非この体制を維持し一人でも多くの方が志し高く強化練習に参加されますよう期待致します。

関東地域弓道選抜大会では数年前までは優勝や上位入賞を果たしていましたが、ここ2年間は不調が続いています。少年チームに負けず一般男女の今年の活躍は皆の願うところです。全日本選手権大会はその年の弓道日本一を決める大会ですが、これまでは関東地域代表を決定する予選会がありました。しかし今年から、各地連代表がそのまま全日本選手権大会に出場できることになりました。この大会ではご承知の通り採点制を採用しております。単に的中だけでは勝ち抜くことはできません。現代弓道の理想的な体配と理想的な射術の両方が求められます。県予選も一層厳しく選考されなくては

ならないわけです。神髄を求める弓人達が日頃の研鑽の成果を存分に競い合う場になって欲しいものです。

来年度には女子の東日本大会が本県で開催されます。主催は全弓連でも関東連合会でもなく女子の実行委員会とのことです。女子弓道の振興のために女性達が自発的に結成した大会とのことです。地連会員の半数は女性達ですので連盟でも応分の支援をすべく、今年は各種射会の運営に競技部役員のご指導を頂けるように競技運営に参加しますので宜しくご協力をお願い致します。

県内審査の方法が若干変わります。審査では射技を主に審査するわけですが、同時に弓道に関する基本的な知識をも審査いたします。従来、射術で合格しながら学科問題で全く答えに値しない答案もあり、その為に不合格になった方もおりました。的中させる技だけでは現代弓道が求める弓人にはなれません。

そこで、基本的な事項だけは是非学習して欲しいという願いから、査定で受けられる方と70歳以上で記憶力が減退された方には受審日以前にしっかり教本を確認して頂くという意味で、事前解答をお願いすることになりました。方法の詳細については各支部長さんに確認して下さい。

受審することは、弓道精進の進歩の過程を公式な立場と方法で判定してもらうことです。向上心を持つ弓人が自らの目標にどの程度まで近づいたかを計る目安となるものです。一段上がる毎に向上へのモチベーションが高まり、更に一段上に挑戦したくなります。この善い循環を身に付けた人が上手になる人でしょう。その為の講習会・研修会が指導部で企画され実施されています。是非意欲的に参加されますようお願いしております。

各種の射会は山弓連が主管・主催するものばかりでなく、各支部・市町村主催のものもあります。その競技運営の方法についてはそれぞれの伝統的な方法もお有りかと思いますが、山弓連主催の場合は、全国的に通用する方法として平成22年度に全弓連競技委員会が試行版として発表した運営要領（マニュアル）を元に円滑な実施を心掛けています。現在、完璧ではありませんが競技部員のご努力で従来より円滑化が進んでおります。各支部にはこのマニュアルが配布されている筈ですので、支部・市町村の射会でも是非採り入れて頂き、県内大会、全国大会に選手あるいは運営役員として参加される場合、戸惑い無く任に当たれようになって頂きたいと思っております。

昨年11月私共の上部団体、全日本弓道連盟は公益財団法

人に認定されました。因みに山梨県体育協会も同じく公益財団法人に認定されています。これにより、役員の在り方、財産・財務管理、事業（審査、競技、指導育成、広報など）等の見直しが検討されており、その在り方は全国各地連にも同様に及びます。全弓連は昨年末、適正な公益法人運営について各種規則の見直しを含め、懸案の対応に小委員会を設け、中長期の基本計画、基本方針などの検討をすることを決定、本年3月「運用推進委員会」とい名称で小委員会（諮問委員会）の設置を決定しました。委員長を含め4名の委員は弓道関係者と外部の弁護士、学識経験者で構成されています。現行の体制や事業、財政基盤の見直し、将来発展事業、国際的事業などを検討するものですが、広く全国の会員からも意見や提言を求めています。

なお、全弓連の代表理事（会長）は「弓道」誌でもご案内のとおり、東京都第3地区会長、東京都弓道連盟会長、関東地域弓道連盟連合会会長、全日本弓道連盟常務理事、国際弓道連盟副会長であり明治神宮至誠館武道場弓道科師範を務める範士九段の石川武夫先生が就任しました。公益法人全日本弓道連盟の新しい舵取りとして、改革発展にその手腕をふるって下さると思います。

不安定な政治・経済の状況下で厳しい生活環境、職場環境にもめげずに頑張っておられる働き盛りの会員諸氏には心からの感謝と声援を送ると同時に弓執る心の変わり無いことを願っております。

変身する弓道界に於いて今年度も大きな目標に向けて、小さくとも一歩を進めましょう。

**平成24年度 段位別兼全日本、関東選抜予選会** 平成24年4月15日（日）小瀬武道館

総参加数・79名 申込数・参段以下28名 参加23名 申込数四段14名参加11名 開始9時30分  
 申込数 五段24名 参加19名 申込数称号30名参加26名 終了15時30分

長い寒い冬が終わり、桜は満開になり、待ちにまった弓道シーズンの到来に、今年度最初に全県下弓道人が集結して、段位別大会が開催されました。この大会は全日本、関東選抜の県予選を兼ね、各段位の優勝を目指すとともに、半分以上の成績を挙げ、6月の第二次予選に進出し、全日本、関東にも推薦されるように各自すばらしい成績を残したいと意気込んで一人8射の行射に臨みました。総勢79名の参加数は、いささか少ない感はあるが、少数精鋭の試合となり、すばらしい大会になりました。

特に、四段の部の射詰め競射は息を呑む射詰めで、尺二的での四射連続的中、五射目から8寸的競射になり息詰まる熱戦が展開された。称号の部では佐野、芦沢両先生の射詰めも五射目から8寸的競射で攻防の連続で、両先生の射詰めに、観衆の感嘆と、ため息が漏れ、ついに九射目で決着がつき佐野先生の優勝決定となり、山弓連を代表する両先生のすばらしい射を観覧している弓仲間から賞賛の拍手が沸きました。

		1 2 3 4 5 6 7 8 的中															
参段以下	1位	小泉 茜	笛吹	三段	○	○	○	○	○	×	×	○	6	○			
	2位	岩崎 博	大月	三段	○	○	○	○	○	×	×	○	6	×			
	3位	中太 大智	甲府	三段	×	×	○	○	×	○	○	○	5	5中4名遠近競射			

		射 詰 競 射																		
		八 寸 的																		
四段	1位	藤原直之	笛吹		×	○	○	○	○	×	○	○	6	○	○	○	○	○	×	○
	2位	上条剛央	上野原		○	○	×	○	×	○	○	○	6	○	○	○	○	○	×	×
	3位	篠崎 亮	中央		×	×	○	○	×	○	○	○	5							

五段	1位	渡辺幸太	富士吉田		○	○	○	○	○	○	×	○	7							
	2位	中澤国弘	甲府		○	○	○	×	○	×	○	○	6							
	3位	桑原 良	富士吉田		×	○	×	×	○	○	○	○	5	5中3名遠近競射						

		射 詰 競 射																				
		八 寸 的																				
称号	1位	佐野辰巳	南部	教士七段	×	○	○	○	○	○	×	○	6	○	○	○	×	○	×	×	○	○
	2位	芦沢茂幸	笛吹	教士六段	○	○	○	×	○	○	×	○	6	○	○	○	×	○	×	×	○	×
	3位	綿奈部博史	甲府	錬士六段	○	×	×	○	○	○	○	○	6	×								

裏面に続きます

## 全国ねんりんピック・勤労者選手権県予選

平成24年4月8日(日) 小瀬武道館弓道場

### ねんりんピック全国大会出場者

仙台市・10月13日～16日

男子・齋藤美隆(笛吹 四段) 渡辺昇(吉田 参段)

井上貴雄(富士川 二段) 棚本佳秀(大月 参段)

補欠・伊藤昇(大月 錬士五段)

女子・久保寺美恵子(甲府 四段)

補欠・望月孝美(南ア 教士六段)

### 全国勤労者弓道大会出場チーム

今年度は、新しいチーム日立 AMS が出場することになりました。2チームともすばらしい成績を挙げることを期待します。

小金井市・6月8日～10日

横河電機・鮫島誠一、今泉拓也、綿奈部博史

日立 AMS・高橋恭平、深沢雄一、長沢和久

## 第34回富士川町大法師桜祭り弓道大会

県内の桜の開花宣言がまだまだ出ないまま、

第34回富士川町、鵜沢 大法師さくらまつり弓道大会が県内より弓道人が結集して開催されました。例年であれいざ桜満開の公園内での弓道大会ですが、桜はまだつぼみのまま、時が止まったように、静かな大会でありました。

4月1日が一般大会、4月3日が高校大会の開催でした。

### 成績

一般の部 4月1日(日) 9時30分～ 参加人数70名

富士川町大法師弓道場

各自8射 団体戦・個人戦

団体1位 16中 富士川町D 大熊隆、土橋享、小澤重平

団体2位 13中 富士吉田A 上条剛央、田中凌久、羽田穂高

団体3位 13中 富士吉田B 渡辺正樹、高島三奈、渡辺律子

個人1位 富士川町 小澤重平、2位 山梨大学 高橋 哲

個人3位 甲府市 鮫島誠一

高校の部 4月3日(日) 9時30分～ 参加人数70名

富士川町大法師弓道場

各自8射 団体戦・個人戦

男子団体1位 17中 巨摩高校A(清水、前島・河西)

男子団体2位 17中 市川高校C(有蘭、深沢、望月)

男子団体3位 15中 巨摩高校C(望月、石崎、牧野)

女子団体1位 25中 巨摩高校A(内田、小池、望月)

女子団体2位 20中 巨摩高校B(小松、名取、右田)

女子団体3位 17中 増徳商業A(井上、野田、赤池)

男子個人1位 8中 巨摩高校B 中込郁也

男子個人2位 6中 市川高校C 深沢育也

男子個人3位 6中 巨摩高校A 河西隆雄

女子個人1位 9中 巨摩高校A 望月祐奈

女子個人2位 9中 巨摩高校A 内田麻琴

女子個人3位 8中 巨摩高校B 名取志保

### 新しい審査方法のお願い

審査部 部長 佐野 辰巳

平成24年度から県内審査方法が少し変わりますので県内審査の「審査の手引書」を必ずご覧ください。

- 1、 審査用紙の確認、日弓連発行「級位・五段以下用」の用紙を使用(旧は今年度のみ)
- 2、 査定審査の場合、学科問題は二問題「理念と実践」「射法と射技」のレポート提出
- 3、 70歳以上の受審者も学科問題は二問題「理念と実践」「射法と射技」のレポート提出
- 4、 70歳以上の受審者の学科問題は受審する段位問題と同じです。
- 5、 学科試験の問題は全て事前に回数と日時を発表します。
- 6、 用紙は「県内審査の手引書」にある用紙をコピーしてください。
- 7、 レポート提出は審査当日受付に発表された(受験番号)を見て記入後提出してください。
- 8、 学科試験の発表は60点以上を合格とし術科審査終了後は発表します。
- 9、 日弓連発行「級位・五段以下用」の用紙を1冊事前購入が便利です。

反省(24年度に向けて)

- A、23年度審査の中で学科出題された問題を間違えて書く受審者が毎回出ました。
- B、入退場の動作が基本通りに出来ない受審者が目につきました。
- C、素晴らしい射をしていても「A」「B」で不合格が出ていました、気をつけましょう。

(県連、総会資料を参考にしました)

平成24年 年齢別・支部別会員構成

山梨県弓道連盟

	平均年齢	男女	90代	80代	70代	60代	50代	40代	30代	20代	10代	計	合計
甲府	51.0	男	2	6	5	6	2	5	2	11		39	63
		女			4	2	5	3	3	7		24	
中央	48.3	男			2	1	4	2	2	1		12	20
		女				1	2	3	1	1		8	
甲斐	44.5	男			2	1	4	2	1			10	15
		女				1	1	1			2	5	
北杜	63.1	男	1	2	4	4	2		3			16	19
		女				1	2					3	
韮崎	42.0	男				3	4	1	5	3		16	21
		女					1	1	2	1		5	
南ア	47.2	男			2	7		3	6	1		19	28
		女				2			3	4		9	
富士川	63.1	男		2	9	8	3	2	1			25	31
		女			1	1	4					6	
身延	68.2	男	1	4	4	3			1			13	19
		女			3	1			1	1		6	
南部	70.4	男		1	3		1					5	5
		女										0	
市川三郷	41.0	男			2		1	1	3			7	8
		女								1		1	
笛吹市	55.5	男	1	3	10	7	6	2	2	2	3	36	60
		女			3	3	8	2	6	2		24	
山梨	49.3	男				1	2	2	1			6	10
		女					2	2				4	
甲州	65.3	男		4	3	2	3	2				14	23
		女		1	1	3	4					9	
大月	61.9	男	1	4	5	4	1	1	3	1		20	26
		女		1		1	2		2			6	
上野原	55.8	男	1	1	1				3			6	7
		女						1				1	
都留	57.0	男			2	2	1	1	1			7	11
		女				2	1	1				4	
富士吉田	41.5	男		2			1	4	4	3		14	22
		女				1		1	1	5		8	
教職員	42.1	男				1	4	9	6	2		22	29
		女						3	3	1		7	
合計		男	7	29	54	50	39	37	44	24	3	287	417
		女	0	2	12	19	32	18	22	23	2	130	
平均(歳)				91.6	84.4	73.5	64.4	53.6	44.1	34.9	24.7	18.4	53.5

支部だより・甲府市 介添え練習会

平成24年4月22日(日) 青葉弓道場

甲府支部は、初めての試みとして、介添え練習会を行いました。

4月になって、20日過ぎてまだまだ肌寒い日があり、多少震えながらの稽古でした。参加者は13名、最初に射手西堀 教士六段、第一介添え・新藤 第二回添え・中澤で矢渡しを行い、順次射手介添えを交代し、介添えは初めての人も何人かいて、繰り返し繰り返し交代しながら練習をし、昼食に、中澤さんの心づくしの手打ちうどんに舌鼓を打ち、厳しい中にも和気あいあいの練習会でした。まだ1回の練習では十分に介添えが出来るとはいえないが、いつでもなんとか介添えできるようにしたいものだ、と、痛感したものです。